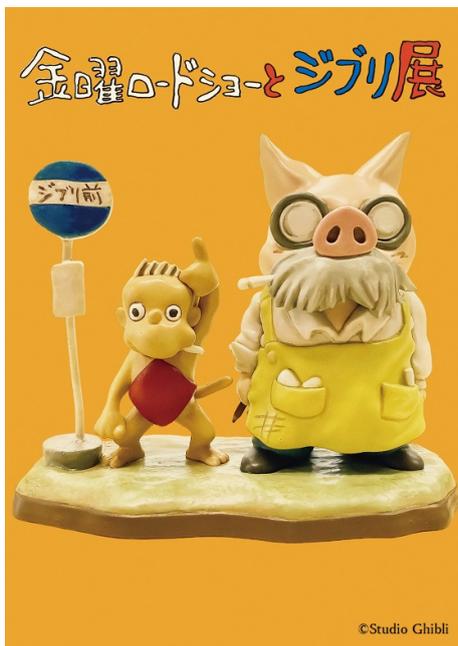


令和5年7月7日

## 「金曜ロードショーとジブリ展」(富山展) 開催のご案内

富山県美術館では、2023年10月7日（土曜日）～2024年1月28日（日曜日）の間、「金曜ロードショーとジブリ展」を開催します。



スタジオジブリは、1985年の設立以来、高畑勲監督や宮崎駿監督の作品を中心に、数々の名作アニメーションを世に送り出してきました。その作品が広く親しまれ、日本中で愛されるようになった背景には、日本テレビの長寿番組「金曜ロードショー」の存在があります。

1986年に『風の谷のナウシカ』が初めて放映されて以来、多くのスタジオジブリ作品が繰り返しテレビで放映され、お茶の間に届けられました。同じ時間に、日本中でたくさんの方が同じ作品を観る、特別な体験。本展では、『風の谷のナウシカ』をはじめ、『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』など、スタジオジブリ作品の魅力を、「金曜ロードショー」で放映された時代の記憶とともにご紹介します。会場では、これまで語られなかった作品の秘密が明かされるほか、作品の世界に飛び込めるようなさまざまな空間が登場します。

### 開催概要

#### 展覧会名

金曜ロードショーとジブリ展

#### 開催日

2023年10月7日（土曜日）～2024年1月28日（日曜日）

#### 休館日

毎週水曜日（ただし10月11日、1月3日は開館）、12月30日（土曜日）～1月2日（火曜日）

#### 開館時間

9時30分～18時00分（観覧受付は17時30分まで）

## 会場

---

富山県美術館 2階展示室 2、3、4

## 主催

---

富山県、金曜ロードショーとジブリ展富山展実行委員会（富山県美術館、北日本放送、北日本新聞社）

## 共催

---

日本テレビ

## 特別協賛

---

au（KDDI 株式会社）

## 協賛

---

図書印刷

## 特別協力

---

スタジオジブリ

## 企画展公式サイト

---

<https://kinro-ghibli.com/>

## 観覧料

---

本展は未就学児を除き、「日時指定予約制」です。

一般 1,800円、大学生 1,400円

高校生以下 無料

各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料です（日時指定予約が必要）。

※スムーズな運営を図るため、団体料金や「リピーター割」「クマ割」等の各種割引は中止させていただきます。

## 【チケット販売】

富山展公式オンラインチケット、ローソンチケット

## チケット販売スケジュール

---

	販売開始日 (各日午前 10 時から販売)	販売対象期間
1.	8 月 18 日 (金曜日)	10 月 7 日 (土曜日) ~11 月 6 日 (月曜日)
2.	10 月 15 日 (日曜日)	11 月 7 日 (火曜日) ~11 月 30 日 (木曜日)
3.	11 月 1 日 (水曜日)	12 月 1 日 (金曜日) ~12 月 29 日 (金曜日)
4.	12 月 1 日 (金曜日)	1 月 3 日 (水曜日) ~1 月 28 日 (日曜日)

## 入場枠

---

	入場開始時間／最終入場時間
1.	9 時 30 分／10 時 20 分
2.	10 時 30 分／11 時 20 分
3.	11 時 30 分／12 時 20 分
4.	12 時 30 分／13 時 20 分
5.	13 時 30 分／14 時 20 分
6.	14 時 30 分／15 時 20 分
7.	15 時 30 分／16 時 20 分
8.	16 時 30 分／17 時 30 分

※チケット販売の詳細は富山県美術館ホームページ、展覧会公式ホームページ等でお知らせします。

## どんな展示？

---

### 1. 時代ごとに紐解くジブリ作品の魅力

---

”金ロー”とジブリのヒストリーを巡る圧巻のデータベース！

「金曜ロードショー」はこれまで 200 回以上にわたってスタジオジブリ作品を放送してきました。その歴史はスタジオジブリが人気を確立し、作品の評価を不動のものとしていく足跡とともにあり、現在も続いています。

番組の放送が始まった 1985 年は、スタジオジブリが“スタジオ開き”をした年であり、日本テレビが特別番組で『風の谷のナウシカ』を初放送した年でもあります。

本展ではそんな 1985 年を起点に、スタジオジブリ作品の公開年、そして「金曜ロードショー」で初放送された年がどんな時代だったのかを丁寧に振り返りながら、各時代の記憶と記録を通じて映画の魅力に迫ります。昭和から平成、令和に至る世相を掘り起こすことで、作品が持つ時代性と普遍性を浮かび上がらせていきます。

また、日本テレビはこれまで、数々のスタジオジブリ関連番組を制作し、放送してきました。本展では貴重なアーカイブ映像も特別公開します。

## ほぼ全作品の絵コンテを展示！ジブリ作品の”設計図”に迫る

『風の谷のナウシカ』から『劇場版 アーヤと魔女』まで、スタジオジブリのほぼ全作品の絵コンテを展示しています。

絵コンテとは、いわば映画の設計図。シーンの流れをコマ割りしたもので、場面の構成やセリフなど演出イメージがつかめます。作品の生まれる過程を間近で見られる貴重な機会となるでしょう。



©Studio Ghibli



©Studio Ghibli

※東京展会場の様子

## 2. ポスターの主演はあなた！

### 初登場！ジブリ映画ポスタースタジオ

スタジオジブリ作品のポスターの中に飛び込んで、主人公のように撮影できる新しいフォト空間が登場しました。そこはまるで架空のスタジオに迷い込んだような場所。作品の主人公になった気で楽しみましょう！

・撮影可能な作品『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『魔女の宅急便』『猫の恩返し』（予定）



©Studio Ghibli



©Studio Ghibli



©Studio Ghibli

※東京展会場の様子



©1989 角野栄子・Studio Ghibli・N

### 3. 風の谷のナウシカ 王蟲の世界

#### ”金ローとジブリの原点”

「金曜ロードショー」とスタジオジブリの歴史における原点である『風の谷のナウシカ』。本展では稀代の造形作家として世界に多くのファンを持つ竹谷隆之さんらが作成した造形物をもとに、映画に登場する“腐海”の空間を表現しました。圧巻のクオリティーで作られた王蟲、大王ヤンマ、ムシゴヤシなどが待つ空間は、来場者を魅了することでしょう。



©Studio Ghibli



©Studio Ghibli

※東京展会場の様子

#### 金曜ロードショー

1985年から日本テレビ系で放送されている映画番組。72年から放送されていた「水曜ロードショー」の放映曜日が金曜日に移ったのを機に、名称を変更しあらたにスタート。86年に『風の谷のナウシカ』（84年、宮崎駿監督）を「金曜ロードショー」で初放映（※）して以来、これまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放映。97年から2009年までは、スタジオジブリが制作したオリジナルのムービー（音楽：久石譲）がオープニングを飾りました。キャラクターの“フライデーおじさん”は宮崎駿監督が生み出し、『耳をすませば』を監督した近藤喜文さんが仕上げたものです。

※『風の谷のナウシカ』のテレビ初放映は85年、日本テレビの特別番組



©Studio Ghibli

## お客様へのお願い

---

ご来館の際は、当館ホームページの「入館時のお願い」をご確認ください。

## ご取材・掲載用写真について

---

広報用画像および取材申請については、下記申込書にご記入の上、ご送付をお願いいたします。

広報用画像提供・取材申込書（PDF：2,926KB）（別ウインドウで開きます）

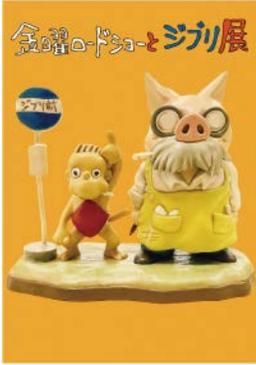
## 同時開催 まるごと TAD こども美術館

TAD ギャラリーにて教育企画展やアトリエでのワークショップ、コレクション展など、こどもも楽しめるプログラムを開催します。

**MAKE  
TOYAMA  
STYLE**  
BEYOND CORONA, WITH US



金曜ロードショーとジブリ展  
広報用画像一覧

画像①	画像②	画像③
		
画像④	画像⑤	画像⑥
		
画像⑦	画像⑧	画像⑨
		

お問い合わせ 富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20  
 tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712  
 メール : abijutsukan@pref.toyama.jp  
 担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 遠藤、江尻、渡辺 (俊)

金曜ロードショーとジブリ展  
 広報用画像申込書

E-mail : [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp) / FAX 076-431-2712

■別紙記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名			E-mail :
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
掲載企画内容	※ご取材希望の場合はこちらに内容、希望日をお書きください。		

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸し出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像（□にチェックを入れてください）

① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input type="checkbox"/>	④ <input type="checkbox"/>	⑤ <input type="checkbox"/>	⑥ <input type="checkbox"/>	⑦ <input type="checkbox"/>	⑧ <input type="checkbox"/>	⑨ <input type="checkbox"/>
広報用画像一覧・掲載時のキャプション ※画像ごとに入れてください								
①～⑦ ©Studio Ghibli ※東京展の会場の様子					⑧・⑨ ©Studio Ghibli			

※その他、美術館外観等の写真が必要な場合は、下記空欄にご記載ください。

お問い合わせ 富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20  
 tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712  
 メール : [abijutsukan@pref.toyama.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.jp)  
 担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 遠藤、江尻、渡辺（俊）



## 富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像はトリミング（切り取り）はせず、全図で使用してください。作品が切れたり、キャプション等の文字や他の画像を重ねてのご使用はできません。
- ◎ WEBにてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施す、画像サイズを落とすなど、2次使用防止への可能な限りのご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次利用はできません。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録のDVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

### お問い合わせ

富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20

tel：076-431-2711 fax：076-431-2712

メール：abijutsukan@pref.toyama.jp

担当：広報に関して：川浦 展覧会に関して：遠藤、江尻、渡辺（俊）



富山県美術館  
アート&デザイン